

チャペル週報

互いに親切にし、憐れみの心で接し、神が
キリストによってあなたがたを赦してくだ
さったように、赦し合いなさい。

(エフェソの信徒への手紙4:32)



2011.5.23~5.27 No.6
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

5月23日(月)	神 神 田 健 次(神学部教授) 経 舟 木 讓(宗教主事) 人 「テゼ共同体のうた」 嶺 重 淑(宗教主事) 聖和 聖書物語「神さまに助けられた人々」
5月24日(火)	ランバスチャペルアワー「Mastery for Service との出会い」ランバス記念礼拝堂 神 ランバスチャペルアワーに合流 文 木 原 桂 二(文学部非常勤講師) 社 上ヶ原ハビタットによるチャペル 法 音楽チャペルⅠ ゴスペルクワイア 経 「経済と人間①」 原 田 哲 史(経済学部教授) 商 ランバスチャペルに合流 国 平 林 孝 裕(宗教主事) 聖和 島 田 ミチコ(副学長) 総 関西学院室内合奏団による音楽チャペル
5月25日(水)	神 <震災を覚えて> 稲 葉 義 也(神2)「安心な僕らは」 社 春の音楽チャペル:バロックアンサンブル 法 瞑想 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師) 商 English Chapel Andreas Rusterholz(文学部宗教主事・宣教師) 人 いのちについて考える⑤ 牧 里 治(人間福祉学部教授) 国 李 恩 子(国際学部准教授) 聖和 田 淵 結(教育学部宗教主事) 理 English Chapel Michael John Lynn(理工学部准教授) 総 村 瀬 義 史(宗教主事)
5月26日(木)	神 <震災を覚えて> 樋 川 一 幸(神4) 文 音楽チャペル・バロックアンサンブル 社 難民学生によるメッセージ アウン・ミャット・ウイン(法学部4年生) 法 音楽チャペルⅡ ゴスペルクワイア 経 舟 木 讓(宗教主事) 商 リア・チンラムマン(商2) 国 杉 山 直 人(国際学部教授) 聖和 聖和創立記念礼拝「聖和で初めて神様に会って」楠原富子 総 関西学院聖歌隊による音楽チャペル
5月27日(金)	院 徳 田 真 二(総合支援センター事務長) 神 高 橋 博 厚(M2)「人を生かす『信仰』へ」 文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事) 経 上ヶ原ハビタット活動報告 人 音楽チャペル バロックアンサンブル 聖和 Whitworth University(聖和大学姉妹校)メンバー 理 「アルプスの山々―山に向かって目を上げ」 松木真一(宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
 5月27日(金)教育学部のために 芝 田 正 夫

言葉と儀式 一見えるものと見えないもの

杉 山 直 人

「天地の創造主、全能の父である神を信じます、父の一人子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます・・・」告白が終わったあと、ミサで次に唱えるのは「使徒信条」。集まった二百人がブツブツとつぶやく。なんだか念仏のよう。間違える人もある。黙っている人もあれば、わたしも一行飛ばしてしまうこともある。眠たい目をこすり、条件反射みたいにつぶやくときも。惰性かも知れない。そういう状態で授かったミサが終わると、言葉なんて当てにならないと思う。若かったときは自己嫌悪に陥ったときもある。言葉はほんとうに、心を言い表すことができるのか、と。

案ずるには及ばない。ミサは儀式である。形である。誰でもわかる「劇」である。目に見えるものなかにこそ、目に見えない神様の知恵がはたらく。だから言葉は重要ではない。ミサは進む。やがて「最後の晚餐」となる。このときである。カメラのピントがびたりと焦点を定めるように、わたしが覚醒するのは。「これを受けて飲みなさい。これはわたしの血きさずきの杯、あなたがたと多くの人のために流されて、罪の許しとなる永遠の契約の血である、これをわたしの記念としておこないなさい。」司祭の口をとおして二千年まえのガリラヤがよみがえる。イエスがあらわれる。時間、言葉、人種の壁は崩れ去る。救い主の命令が時空を超えて聞こえてくる。イエスの血をいただける。イエスの体を口にする。ありがたい・・・ローマ時代と同じく、わたしたちは今でも食人種。だが、このカニバリズムがもたらすものは一体感と幸福感。

洗礼を受けて三十年。なんと挫折したことだろう。なんと「罪」を犯したことだろう。十年間はまったく通わなかった。毎日曜日足繁くミサに預かるようになったのは、ここ五年ほど。いちど捕まえたものを、神が容易に放そうとしないというのは、ほんとうである。しつこく追ってくる。ふりはらっても、拒否しても助けようとする。この先どのような形で呼びかけてくるのだろう。聞こえてくるのだろう。もちろんわからない。だが、その声にしたがうのをためらう理由はない。今ある自分の支えとなっていることがわかっているのだから。

(国際学部教授)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のミニ・コンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月26日(木) 関西学院ハンドベルクワイア
- 5月31日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル
- 6月2日(木) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
- 6月7日(火) 関西学院聖歌隊
- 6月9日(木) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル
- 6月13日(月) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice
- 6月16日(木) 関西学院バロックアンサンブル

いずれも12時50分から13時20分まで、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて。

●チャペル・オルガニスト募集(理工学部生、総合政策学部生)

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は5月28日(土)にオーディションを行います。採用されると個人レッスンを受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。

応募方法:「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室宗教センター、神戸三田キャンパス事務室(I号館キャンパス担当)で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。また、電子メールの添付ファイルでも受付します。

☆「募集要項」「応募用紙」がダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.html 学生団体の紹介にあります。

応募期間:5月6日(金)～5月26日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求:吉岡記念館事務室宗教センター

電話:0798-54-6018、E-mail:organist@kwansei.ac.jp

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

- 5月27日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)
- 6月3日(金) アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)
- 6月10日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)
- 6月17日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)
- 6月24日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

●ランバスチャペルアワーのお知らせ

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。

テーマ:Mastery for Service との出会い

とき:5月24日(火)10:35～11:05

ところ:西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。